

ほうれんそうを加害するウリハムシモドキおよびネギアザミウマに対する数種殺虫剤の防除効果

【1 成果の概要】

- ウリハムシモドキ
 - 1) 被害の特徴：成虫が葉に円形の食痕をつけて食害します（図1）。
 - 2) 薬剤防除効果：スタークル顆粒水溶剤（アルバリン顆粒水溶剤）、アクタラ顆粒水溶剤、アドマイヤーフロアブルの3剤に防除効果があります。
- ネギアザミウマ
 - 1) 被害の特徴：成幼虫が新葉を食害し、かすり症状や奇形をもたらします（図2）。
 - 2) 薬剤防除効果：ディアナSC、スピノエース顆粒水和剤の防除効果が高く、アドマイヤーフロアブルは一定の防除効果が認められます。



左:ウリハムシモドキ成虫(体長 6mm)

右:被害状況(葉に円形の食痕をつけて食害)

図1. ウリハムシモドキとほうれんそう被害



左:ネギアザミウマ成虫(体長 1mm 前後)

中央・右:被害状況(新葉を食害し、展葉後に黄色のかすり症状や奇形をもたらす)

図2. ネギアザミウマとほうれんそう被害

【2 効果】

- 適切な防除対策により、安定生産に寄与します。

【3 留意事項】

- (1) ウリハムシモドキは年1回の発生とされ、マメ科牧草をはじめ多くの植物を加害します。また、本種によるほうれんそう被害は主に7月に発生します。
- (2) 農薬を適切に使用いただくため、「平成29年度試験研究成果」もあわせてご覧ください。

【4 適応対象】

- (1) 地帯 県内全域
- (2) 対象者 営農指導者（農業普及員等）

担当研究室 県北農業研究所 園芸研究室

〒028-6222 軽米町山内 23-9-1 TEL. 0195-47-1074 FAX. 0195-49-3011